

# 内科

## 好酸球性食道炎について

胸やけ・嚥下障害・のどのつまり感などの症状をきたす病気として、逆流性食道炎は有名ですが、近年これと鑑別を要する好酸球性食道炎という疾患が増えてきています。食物のアレルギーが関与して、白血球の中の「好酸球」という細胞が食道の表面に多量に集まり、粘膜

の炎症を引き起こします。血中の好酸球が増加している場合も多く、内視鏡を行うと食道粘膜は厚く、縦長の溝状の傷や白い斑点が見られ、輪状の狭窄を伴うこともあります。採取した組織に好酸球が多量に浸潤していることで診断が確定します。CTで食道壁が厚くなっていることを確認できることもあります。

ます。

治療はアレルギーが疑われる食品を食事から除くことで改善がみられることが多く、薬物療法としては、酸分泌を抑えるプロトンポンプインヒビターを投与し、無効な場合はステロイド剤を用います。



福本 学

### 内科

#### 新百合山手福本内科

☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

